

日本弁理士会 中央知的財産研究所

第15回 公開フォーラム

開設22年目を迎える日本弁理士会 中央知的財産研究所の研究活動の一端を紹介する公開フォーラムです。内容の濃いプログラムですので、是非ご参加ください。（参加費無料）

なお、この公開フォーラムは、日本弁理士会継続研修の単位認定科目として単位認定されます。

※15分以上の遅刻、早退、中座をされると単位は認定されません。公共交通機関の遅延等、自己の行為に起因しない理由であっても15分以上遅刻をした場合には単位が認められません。

※単位取得の場合、弁理士以外の申込みはできず、代理受講も認められません。

※取得単位は、3、5単位を予定しております。

日時 / 場所

【大阪会場】：平成29年7月14日（金） 13:00 ~ 17:00

於 TKPガーデンシティ大阪梅田 パンケット2A会議室

（大阪府大阪市福島区福島5丁目4-21 TKPゲートタワービル2階）

<http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gc-osaka-umeda/access/>

【東京会場】：平成29年7月28日（金） 13:00 ~ 17:00

於 イイノホール&カンファレンスセンター RoomA

（東京都千代田区内幸町二丁目1番1号 飯野ビルディング4階）

<https://www.iino.co.jp/hall/access/>

プログラム

講演「知的財産権訴訟における証拠」

特許法105条1項の運用状況（必要性・正当理由を中心として） 中村合同特許法律事務所 弁護士・弁理士 高石 秀樹 氏
特許出願審査・審判・訴訟における冒認出願の位置づけと証明責任 慶應義塾大学教授・弁護士 君嶋 祐子 氏
知的財産権訴訟における証拠収集－民事訴訟法の観点から 一橋大学大学院教授・ブレイクモア法律事務所弁護士 小林 秀之 氏
米国特許訴訟におけるDiscovery制度に関する最近の議論 ワシントン大学・慶應義塾大学教授 竹中 俊子 氏
証拠収集手続に関する近時の検討状況 慶應義塾大学大学院教授・TMI総合法律事務所弁護士（司会） 小泉 直樹 氏

特許法105条1項の文書提出命令はどのように運用されてきたか。冒認であることの証明責任は誰が負うか。一般の民事訴訟との関係で知財関係訴訟における証拠収集はどのようにあるべきか。アメリカ特許訴訟におけるDiscovery制度について最近どのように議論されているか。そして、これら諸状況をふまえ日本の証拠収集手続きの課題はいかなるものか。最後に講演者相互で議論したい。

*講演者は、お断りなく変更する場合があります。

定員

《大阪会場》：一般30名、会員130名

《東京会場》：一般50名、会員180名

申込み方法

会員の方は以下のURLにアクセスのうえ、お申し込みください。

《大阪会場》【会員】https://www.jpaa-members.jp/public_html/bin/detail.php?itemID=t000102688058

《東京会場》【会員】https://www.jpaa-members.jp/public_html/bin/detail.php?itemID=t000102688059

お申込の際は、電子フォーラムへのログインが必要となります。

▼ユーザー名/パスワードをお忘れの場合はこちら

<http://www.jpaa.or.jp/?cat=782>

ログイン後、「申込ボタン」をクリックすることでお申込が出来ます。

※入場券について・・・会員の方は、画面上の「入場券ボタン」をクリックし、PDFを表示・印刷してください。

（メールでは届きませんのでご注意ください。）

一般の方は以下のURLからお申込ください。

《大阪会場》：【一般】<http://www.benrishi-navi.com/f/?id=a3511&type=1>

《東京会場》：【一般】<http://www.benrishi-navi.com/f/?id=a3512&type=1>

※一般の方につきましては、入場券（メール）が自動送信されますので、当日プリントの上、受付にご提出ください。

【大阪会場】



【東京会場】



申込み締切

《大阪会場》7月7日（金）

《東京会場》7月21日（金） ※先着順、定員になり次第締め切ります。

主催

日本弁理士会 中央知的財産研究所

照会先

中央知的財産研究所事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-6 東京倶楽部ビル14階

TEL 03-3519-2717 FAX 03-3581-1205 E-MAIL criip@jpaa.or.jp